

# 安達太良山・沼ノ平における地熱活動

—1999年6月～9月—

Geothermal Activity in Numanotaira crater, Adataro Volcano

—June 1999 - September 1999—

仙台管区気象台

福島地方気象台

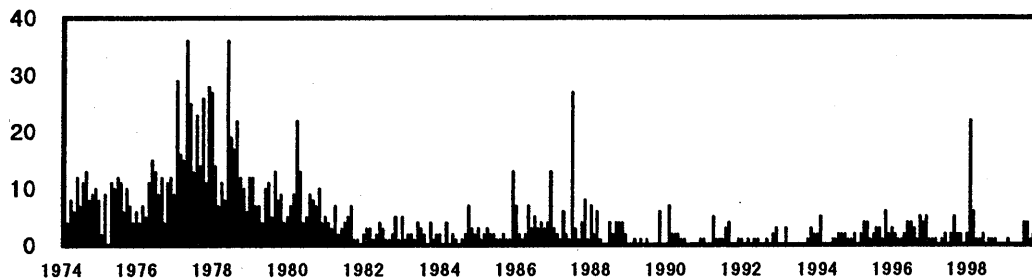
Sendai District Meteorological Observatory, JMA

Fukushima Local Meteorological Observatory, JMA

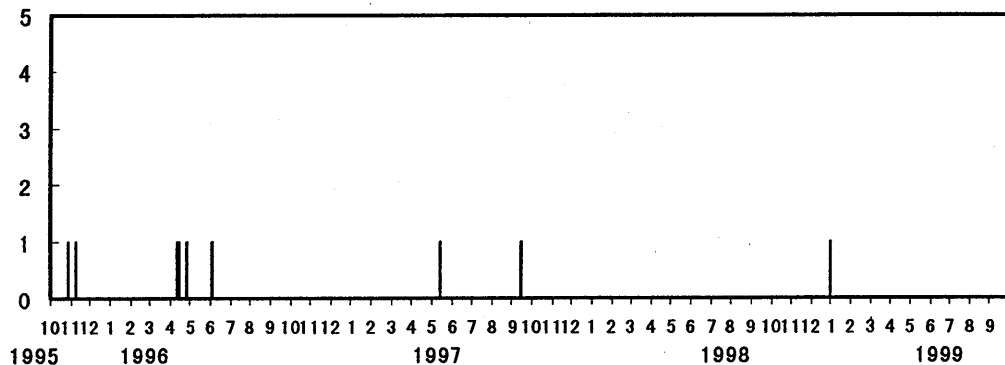
安達太良山A点における月別地震回数を第1図に、日別微動回数を第2図に示す。本期間（1999年（平成11年）6月～9月）、月別地震回数は1～4回で推移した。微動は1998年12月30日以降観測されていない。

福島地方気象台は1999年6月21日、7月26日～27日、9月9日および9月27日～28日に現地観測（放射温度観測、目視観測、写真撮影）を実施した。第3図に観測点配置図を示す。6月21日、7月26日の観測において、沼ノ平火口の中央部よりやや北側に5月13日の現地観測で確認した泥山（第73号で報告）の近くに新たな泥山を確認した。大きさは、それぞれ直系約1.5m、高さ約50cmと直径約1.5m、高さ約20cmであった。なお、これらの泥山は、噴気活動も泥噴出もなく、活動は止まっていた。第4図にその位置を示す。また、火口南西部では依然として噴気活動が活発であり、沼ノ平北部の泥水噴出も継続している（噴出口：長径約6m、短径約3mの楕円形：9月27日現在）のを確認した。赤外放射温度計による火口表面の温度観測結果を第5図に示す。過去の変化傾向をみると、年周変化によるものとも考えられる。

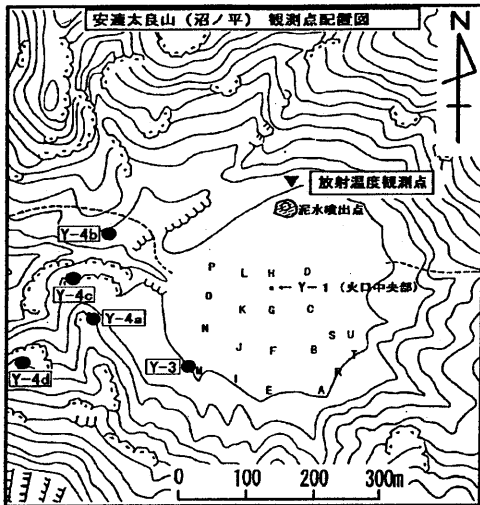
次に火口中央部のY-1観測点の地中温度の変化を第6図に示す。温度の高い状態は続いている。



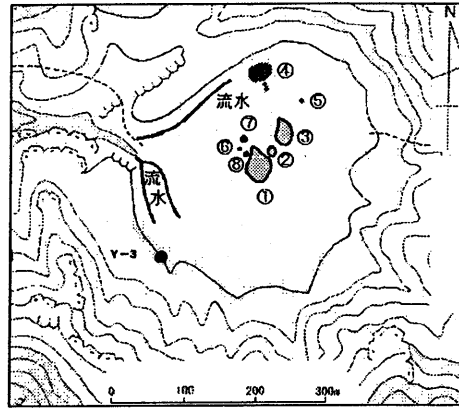
第1図 火山性地震月別回数（A点：1974年1月～1999年9月）  
Fig. 1 Monthly frequency of volcanic earthquakes.(seismic station A: Jan.1974 - Sep.1999)



第2図 火山性微動日別回数（A点：1995年10月～1999年9月）  
Fig. 2 Daily frequency of volcanic tremors.(seismic station A:Oct.1995-Sep.1999)



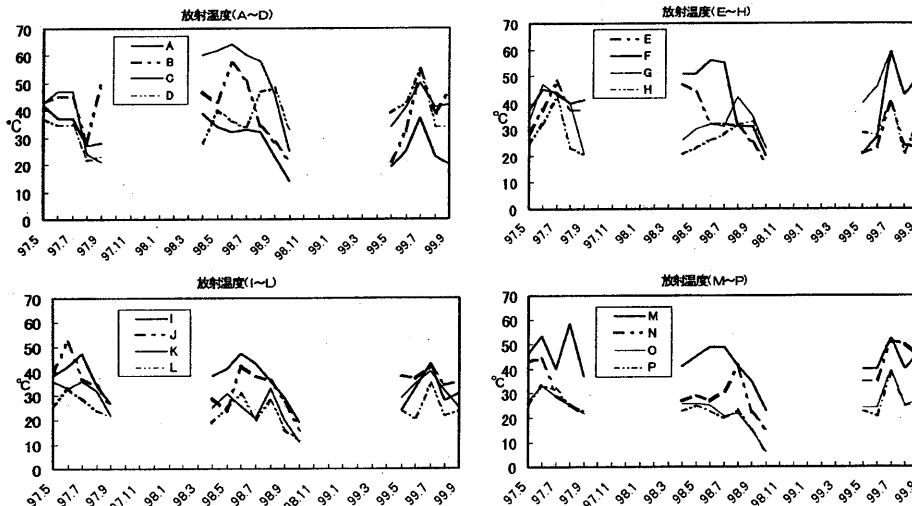
第3図 沼ノ平における現地観測点  
A~Pは赤外放射温度測定ポイント、  
Y-1~Y-4は繰り返し温度測定ポイント。  
Fig. 3 Survey points in observation at Numanotaira crater.



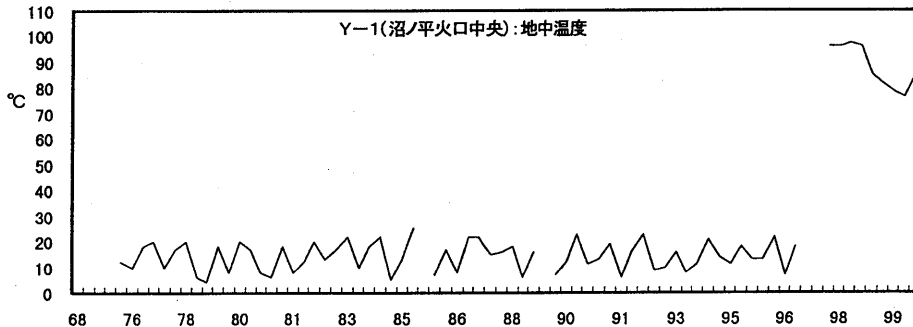
- ①1996.09.04 基礎調査観測で確認された泥の堆積
- ②1996.09.05 福島の現地観測で確認された泥水噴出あと
- ③1996.09.05 福島の現地観測で確認された泥水噴出あと
- ④1996.09.27 基礎調査観測で確認された泥水噴出  
(現在、最も活発)
- ⑤1998.05.28 福島の現地観測で確認された泥の堆積
- ⑥1999.05.13 福島の現地観測で確認された泥の堆積
- ⑦1999.06.21 福島の現地観測で確認された泥の堆積
- ⑧1999.07.26 福島の現地観測で確認された泥の堆積

第4図 沼ノ平における泥水噴出、泥の堆積(泥山)地点

Fig.4 Mud ejection points in Numanotaira crater.



第5図 沼ノ平における赤外線放射温度計による表面温度観測結果(1997年5月~1999年9月) 測定ポイントは第3図参照  
Fig. 5 Surface temperatures in Numanotaira crater measured by Infrared Radiation Thermometer, from May 1997 to Sep. 1999.



第6図 沼ノ平中央部(Y-1)の地中温度(深さ30cm)(1968年5月~1999年9月)  
Fig. 6 Ground temperature at 30cm depth, at survey point Y-1 in Numanotaira crater, from May 1968 to Sep. 1999.